

研究へのご協力に関するお知らせ（オプトアウト）

このたび、河北総合病院 救急集中治療科では、下記の研究を実施しております。本研究は、患者さんお一人おひとりに直接同意をお願いする代わりに、研究の内容を公開し、ご協力いただきたくない場合にはお申し出いただける機会を保障する方法（オプトアウト）で実施いたします。本研究へのご協力を希望されない場合は、文末の連絡先までお申し出ください。お申し出がない場合は、ご協力いただいたものとして取り扱わせていただきます。

1. 研究の名称および実施許可

研究課題名：電子カルテ共有型在宅患者救急搬送システムの運用報告

—同一医療法人における在宅医療と救急医療の連携—

本研究は、河北医療財団倫理委員会の審査を経て、研究機関の長（病院長）の実施許可を得て実施しています。

2. 研究機関の名称および研究責任者

研究機関：医療法人財団 河北医療財団 河北総合病院

研究責任者：前田 敦雄（救急集中治療科・医長）

※本研究は当院（同一医療法人内）で行う単施設研究です。

3. 研究の目的および意義

当財団では、急性期病院（河北総合病院）と在宅医療機関（河北ファミリークリニック南阿佐ヶ谷）が同一の電子カルテを共有し、院内に救急救命士を配置した病院救急車を運用する『電子カルテ共有型在宅患者救急搬送システム』を構築しています。本研究は、このシステムにより搬送された在宅療養患者の記録を分析し、救急搬送の迅速化・効率化への寄与を明らかにすることを目的とします。在宅医療と救急医療をつなぐ医療 DX の有用性を示し、地域の救急医療体制の改善に役立てることを意義としています。

4. 研究の方法および期間

方法：本研究は、すでに診療および搬送の過程で記録されている診療録（電子カルテ）および病院救急車の活動記録を用いて後ろ向きに分析する観察研究です。新たな検査・治療などは一切行いません。搬送に要した時間、年齢・性別・意識レベル・バイタルサイン・要請理由・診断・在院日数・転帰などの情報を収集・分析します。あわせて、搬送業務に従事する

救急救命士に対し、無記名の質問紙調査を行います。収集した情報は、個人を直接特定できないように加工（連結可能匿名化）したうえで取り扱います。

研究対象期間：2024 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日に搬送された症例

研究実施期間：研究実施許可日 ～ 2028 年 3 月 31 日（予定）

5. 研究の対象となる方（選定された理由）

上記の研究対象期間中に、河北ファミリークリニック南阿佐ヶ谷の訪問診療を受けている居宅から、当院の病院救急車により河北総合病院救急外来へ搬送された患者さんを対象としています。上記に該当する診療情報を有しておられるため、研究対象とさせていただきます。

6. 研究対象者の負担、予測されるリスクおよび利益

本研究はすでに記録された診療情報・活動記録のみを用いるため、患者さんに新たなご負担や身体的なリスクは生じません。研究の成果は患者さん本人に直接の利益をもたらすものではありませんが、今後の在宅救急医療の質向上に役立つことが期待されます。

7. 研究へのご協力とその撤回について

本研究へのご協力を希望されない場合は、文末の連絡先までお申し出ください。お申し出いただいた場合は、その時点で当該患者さんの情報を研究の対象から除外します。いったんご協力いただいた後でも、いつでも撤回することができます。ただし、研究結果がすでに学会発表・論文等で公表された後など、撤回に応じることが困難な場合があります。研究へのご協力を希望されないこと、または撤回されることによって、患者さんが診療上その他いかなる不利益を受けることもありません。

8. 研究に関する情報公開の方法

本研究に関する情報は、河北医療財団のホームページに掲載して公開します。

9. 研究計画書等の入手・閲覧について

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報の保護および研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書および研究の方法に関する資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合は文末の連絡先までお問い合わせください。

1 0．個人情報等の取扱い

収集した情報は、氏名・住所などの個人を直接特定できる情報を取り除き、代わりに研究用の番号を付けて管理します（連結可能匿名化）。番号と個人を結びつける対応表は、研究責任者が施錠・パスワード管理のもとで厳重に保管し、研究目的以外には使用しません。研究結果を学会や論文で発表する際も、個人が特定されない形で行います。

1 1．試料・情報の保管および廃棄の方法

本研究では血液等の試料（サンプル）は取得しません。収集した情報は、研究責任者が、研究終了の報告日から5年または研究結果の最終公表日から3年のいずれか遅い日まで、施錠・パスワード管理のもとで保管します。保管期間終了後は、電子データは復元できない方法で消去し、紙媒体は裁断するなど、個人情報に漏れない方法で廃棄します。

1 2．研究資金および利益相反

本研究は、当科の通常の診療体制の範囲で実施し、特定の企業等からの資金提供は受けていません。開示すべき利益相反はありません。

1 3．研究により得られた結果等の取扱い

本研究で得られる結果は集団としての分析結果であり、患者さん個人にお返しする性質のものではありません。結果は学術論文として公表する予定です。

1 4．相談等への対応

本研究に関するご質問・ご相談は、文末の連絡先までお問い合わせください。

1 5．経済的負担および謝礼

本研究へのご協力に伴う患者さんの経済的負担はありません。また、謝礼の支払いもありません。

1 6．その他の治療方法・研究実施後の医療について

本研究は通常の診療を超える医療行為を伴わないため、該当しません。

1 7．健康被害に対する補償

本研究は侵襲（身体への負担）を伴わないため、健康被害に対する特別な補償措置は設けておりません。

18. 将来の研究での利用・他機関への提供

本研究で取得した情報を、将来の別の研究に用いる予定、または他の研究機関に提供する予定はありません。

19. モニタリング・監査における情報の閲覧について

本研究は侵襲を伴う介入研究ではないため、研究計画書上はモニタリング・監査を実施する予定はありません。なお、研究の適正性を確認するために、必要な範囲で倫理委員会等が研究対象者に関する情報を確認する場合がありますが、その際も患者さんの秘密は厳重に守られます。

【お問い合わせ・研究へのご協力を希望されない場合の連絡先】

医療法人財団 河北医療財団 河北総合病院 救急集中治療科

研究責任者：前田 敦雄

電話：03-3339-2121（受付時間：平日 9 時～16 時）

作成日：2026 年 6 月 8 日 版番号：第 1.0 版